

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	高崎経済大学
設置者名	公立大学法人高崎経済大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
経済学部	経済学科		0	62	0	62	13	
	経営学科				0	62	13	
	国際学科				0	62	13	
地域政策学部	地域政策学科			72	0	72	13	
	地域づくり学科				0	72	13	
	観光政策学科				0	72	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<ul style="list-style-type: none"> ・経済学部 https://www.tcue.ac.jp/files/leafpage/leafpage-90-4.pdf ・地域政策学部 https://www.tcue.ac.jp/files/leafpage/leafpage-103-2-seq1.pdf
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	高崎経済大学
設置者名	公立大学法人高崎経済大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.tcue.ac.jp/leafpage/yakuin.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	高崎商工会議所会頭	2021.4.1 ~ 2023.3.31	産業界等との連携の 強化
非常勤	作家	2021.4.1 ~ 2023.3.31	文学等に関する専門 的知見や経験に基づ く提言や助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	高崎経済大学
設置者名	公立大学法人高崎経済大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>基本情報(科目名、科目区分、担当教員名、配当年次、単位区分、単位数、開講時期、担当教員との連絡方法)、授業の目的、授業の達成目標、授業スケジュール、教科書・参考文献、授業外での学習、評価方法、履修上の注意、以上の項目を共通のフォーマットで示している。</p> <p>シラバスの作成については、前年度後期から授業担当教員が案を作成し、自己点検・評価委員会が定めたチェック項目に基づき、学科長、教養教育長を中心にチェックを行い、最終的に学部長及び自己点検・評価委員会で確認を行って完成させる。新年度当初(4月上旬)にガイダンスを実施する際に、事前に学内のポータルサイト及びホームページで公開し、履修支援を行っている。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・経済学部シラバス https://www.tcue.ac.jp/leafpage/e_syllabus.html ・地域政策学部シラバス https://www.tcue.ac.jp/leafpage/r_2019syllabus_a213.html
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学修成果の厳格かつ適正な評価に関しては、リアクションペーパーやコメントペーパー、小テストを複数回実施することや授業がある程度進んだ段階で中間テストを行うことなどにより、授業の理解度および学修意欲の把握に努めている。</p> <p>同時に、期末試験または期末レポートを課すことで、「授業計画(シラバス)」に記載した授業の達成目標をクリアしているかどうかを把握している。</p> <p>他方、単位については、期末試験ないし期末レポートに、上述したリアクションペーパーや中間テスト、受講態度など、他の要素を加味しつつ、達成目標を基準として複数の総合的な視点から評価したうえで、厳格かつ適正に付与している。</p> <p>毎学期の成績は、学業成績通知書で伝えるが、その際に、学業成績通知書に記載されている成績に疑義がある場合には、学生は定められた申請期間に成績問合せを申請することができる。なお、成績問合せがあった場合には、学部長を通じて科目担当者が書面で回答することとしている。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

評価方法は、定期試験、筆記試験、レポート、口頭試問などを総合して行う。個々の科目の評価方法はシラバスに明示している。成績評価基準は、S (特に成績優秀な者)、A (80 点以上)、B (70 点以上)、C (60 点以上)、D (59 点以下、不合格)、E (未受験) の6段階で、100 点満点中の60 点以上を合格 (単位取得) としている。履修登録した科目の単位を修得するためには、授業回数の3分の2以上出席し、試験に合格することが求められる。成績評価を行う試験は、筆記 (レポートを含む) と口頭によるものがあり、平常試験、定期試験 (期末試験)、追試験が実施される。

ただし、演習科目 (基礎演習、演習Ⅰ、演習Ⅱ) についてはSの評価はなく、Aが最高評価とし、また、単位認定科目 (他大学単位互換科目、入学前既修得単位等)、卒業要件の対象とならない科目 (教職科目の一部) はGPAの算出対象から外している。GPAはS (履修登録者の10%以内) が4、Aは3、Bは2、Cは1、D・Eは0である。

【GPAの計算方法】

$$\frac{\text{履修登録した各科目の (単位数} \times \text{GP) の合計}}{\text{履修登録した科目の総単位数}}$$

※GPAの算出は、小数点第三位を四捨五入し、小数点第二位まで求める。

※不合格となった科目を再度履修した場合、直近の成績評価のみをGPAの算出の対象とする。

※単位認定科目 (他大学単位互換科目、入学前既修得単位等)、卒業要件の対象とならない科目 (教職課程の一部科目) については、GPを付与せず、GPAの算出対象としない。

※学業成績通知書上では、セメスターごとのGPAのほか、通算でのGPAを表示するが、成績単位修得証明書には、通算GPAのみ表示される。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

- ・経済学部
<https://www.tcue.ac.jp/leafpage/727.html>
- ・地域政策学部
<https://www.tcue.ac.jp/leafpage/730.html>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の認定方針については、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）として、経済学部では「教養教育を通じて批判的思考・論理的表現の汎用力を修得し、さらに言語・数理の基礎力及び国際的・学際的感覚に身に付けると同時に、演習等の専門教育を通じ、所属する学科で指定した能力を身に付けた者で、定められた年限在学し、所定の単位数を修得した者に学位『学士（経済学）』を授与する」ことを掲げている。地域政策学部では「基礎教育科目を通じて学問の方法論、論理的思考法、幅広い教養と実践的語学力など基礎力を修得し、専門教育科目を通じて所属する学科で指定した能力を身に付けた者で、定められた年限在学し、所定の単位数を修得した者に学位『学士（地域政策学）』を授与する」ことを掲げている。</p> <p>卒業判定は、教授会において卒業判定対象者の成績資料を配布し、厳正な手続きを踏み、学長に意見を述べ、学長が決定している。</p> <p>本方針は、高崎経済大学『目的・学生育成目標等&3つの方針／各種基本方針』として、インターネットにより公開しているほか、入学時に配布する『履修要綱』の冒頭に掲げ、学生への周知徹底を図っている。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高崎経済大学学位規程 https://www.tcue.ac.jp/files/leafpage/leafpage-507-1.pdf ・高崎経済大学経済学部規程 https://www.tcue.ac.jp/files/leafpage/leafpage-507-2.pdf ・経済学部 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー） https://www.tcue.ac.jp/leafpage/e_diploma_p.html ・経済学部卒業要件 https://www.tcue.ac.jp/leafpage/e_yoken117.html ・高崎経済大学地域政策学部規程 https://www.tcue.ac.jp/files/leafpage/leafpage-507-3.pdf ・地域政策学部 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー） https://www.tcue.ac.jp/leafpage/r_diploma.html ・地域政策学部卒業要件 https://www.tcue.ac.jp/leafpage/r_yoken218.html

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	高崎経済大学
設置者名	公立大学法人高崎経済大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	インターネット https://www.tcue.ac.jp/leafpage/zaimu.html
収支計算書又は損益計算書	インターネット https://www.tcue.ac.jp/leafpage/zaimu.html
財産目録	公立大学法人のため不要
事業報告書	インターネット https://www.tcue.ac.jp/leafpage/zaimu.html
監事による監査報告(書)	インターネット https://www.tcue.ac.jp/leafpage/zaimu.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:令和4年度公立大学法人高崎経済大学年度計画 対象年度:令和4年度)
公表方法: https://www.tcue.ac.jp/leafpage/mokuhyokeikaku.html
中長期計画(名称:公立大学法人高崎経済大学第2期中期計画 対象年度:平成29年度~令和4年度)
公表方法: https://www.tcue.ac.jp/leafpage/mokuhyokeikaku.html

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.tcue.ac.jp/leafpage/hokoku.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.tcue.ac.jp/leafpage/uaa.html

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 経済学部
教育研究上の目的（公表方法： https://www.tcue.ac.jp/leafpage/e_porpose.html ） （概要）経済学部は、商都高崎の伝統を踏まえて、実学の精神で学生を教育する。広い教養と基礎的学力を養い、教員の高水準の研究成果を適切に伝えることにより、経済学・経営学全般に通じ、国際・国内・地域の諸分野で自力を持って活動しうる人材を育成することを目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.tcue.ac.jp/leafpage/e_diploma_p.html ） （概要）経済学部では、教養教育を通じて批判的思考・論理的表現の汎用力を修得し、さらに言語・数理の基礎力及び国際的・学際的感覚を身に付けると同時に、演習等の専門教育を通じ、所属する学科で指定した能力を身に付けた者で、定められた年限在学し、所定の単位数を修得した者に学位「学士（経済学）」を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.tcue.ac.jp/leafpage/e_curriculum_p.html ） （概要）経済学部では、「卒業認定・学位授与の方針」に掲げる知識・技能を修得させるために、以下の方針に従って教育課程を編成する。 1 経済学・経営学全般に通じ、国際・国内・地域の諸分野で自力を持って活動し得る人材を育成するため、問題発見力、調査分析力、論理的思考力、コミュニケーション力、リーダーシップ、社会的責任力の諸能力が修得できるよう教育の充実を図る。 2 他者と円滑なコミュニケーションをとるために欠かせない論理的思考力、表現力、言語運用力を高めるため、少人数のクラス編成により、グループワークや双方向の対話を重視した日本語リテラシー科目、外国語科目を配置する。 3 数理的知識とデータ処理に関する基礎的スキルを身に付けるため、習熟度に応じて学生が選択できる科目構成とした数理系科目を配置する。 4 グローバルな視点、思考を涵養するため、学際的に諸学問を学びながら自身の文化や多様な価値観を考察できるよう教養科目を配置するほか、諸言語を母語とする人とコミュニケーションをとれるよう言語系科目を配置する。 5 専門教育科目は、学科ごとに専門領域を幅広く体系的に学修できるよう配置するとともに、専門領域以外の領域も学生自らが定めた学修課題に自律的かつ継続的に取り組めるよう柔軟に選択できる領域を確保する。 6 実務家講師を招聘し、経済社会、企業経営の現場における実践的な事例を学修し、経済学、経営学の理念や目的を理解させるための科目を専門教育科目に配置する。
入学者の受入れに関する方針（公表方法： https://www.tcue.ac.jp/leafpage/e_admission_p.html ） （概要）経済学部では、以下のような資質を備えた人を積極的に受け入れる。 1 高校までの以下の学習の内容をきちんと身につけている人 （1）日本語、また英語における「読む」「聞く」「話す」「書く」の技能の基礎 （2）数理的に思考するための能力の基礎 （3）社会科学を学習する前提となる幅広い知識 2 1を基に、論理的に思考し、自身の考えを他者に伝えることができる人 3 経済、経営、国際社会に強い関心があり、自ら主体的に学ぶ人 4 多様な意見を尊重し、他者と協力して学習や課外活動に取り組める人

学部等名 地域政策学部
教育研究上の目的（公表方法： https://www.tcue.ac.jp/leafpage/r_porpose.html ） （概要）地域政策学部は、その研究・教育・地域貢献を通じて、多面的に地域を考え、かつ、内発的な地域づくりに参画し、地方分権時代を担う官民諸分野の人材を育成することを目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.tcue.ac.jp/leafpage/r_diploma.html ） （概要）地域政策学部では、基礎教育科目を通じて学問の方法論、論理的思考法、幅広い教養と実践的語学力など基礎力を修得し、専門教育科目を通じて所属する学科で指定した能力を身に付けた者で、定められた年限在学し、所定の単位数を修得した者に学位「学士（地域政策学）」を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.tcue.ac.jp/leafpage/r_curriculum.html ） （概要）地域政策学部では、「卒業認定・学位授与の方針」に掲げる知識・技能を修得させるために、以下の方針にしたがって教育課程を編成する。 1 「地域リーダーとしての問題解決能力」を構成する、問題発見力、調査分析力、政策立案力、コミュニケーション力、組織的行動力、社会的責任力の諸能力が修得できるよう教育の充実をはかる。 2 地域政策学を構成する諸分野の基礎である人文科学・社会科学・自然科学等を幅広く学ばせ、国際化社会に対応できる実践的な外国語能力を修得させるために基礎教育科目を配置する。専門教育を理解するうえで必要となる方法論を学ばせるために、基礎教育科目の中に基幹教養科目を配置する。 3 地域政策学の基礎となる考え方や地域問題の捉え方を修得させ、さらに大学生活の基礎となる学びの方法論を修得させるために専門導入科目を配置する。 4 地域が直面する多様な課題を理解させ、地域問題解決に結び付く幅広い理論と深い専門的知識を修得させるために、3学科に専門基礎科目及び専門発展科目を配置する。 5 専門分野における地域政策学の理論の深化と、実践的・実証的調査研究により、地域問題解決の高い能力を修得させるために必修科目として基礎演習、演習Ⅰ・Ⅱ、卒業論文を配置する。 6 広い視野と深い問題意識の修得をはかるため、現場の地域リーダーを招聘する実践的・実証的な講義を配置する。
入学者の受入れに関する方針（公表方法： https://www.tcue.ac.jp/leafpage/r_admission.html ） （概要）地域政策学部では、「卒業認定・学位授与の方針」、「教育課程編成・実施の方針」に定める教育を受けるための条件として、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求める。 1 大学で学ぶための基礎的な学力を身に付けている人 2 聞く・話す・読む・書くという基礎的なコミュニケーション能力を身に付けている人 3 地域社会に関する幅広い問題意識を持っている人 4 地域社会が直面する諸課題の解決に積極的に取り組む意欲を持っている人 5 大学内外の人たちと協力して学修・研究に取り組むことができる人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.tcue.ac.jp/leafpage/soshiki.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
経済学部	—	26人	28人	4人	0人	0人	58人
地域政策学部	—	29人	17人	1人	0人	0人	47人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		234人					234人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： ・経済学部 (https://www.tcue.ac.jp/list/ec_teachers.html) ・地域政策学部 (https://www.tcue.ac.jp/list/rp_teachers.html)					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
授業評価アンケート、ピアレビュー及び学生、卒業生に対する調査の継続など、多面的な評価を実施し、その結果を基にFDを実施している。そのほか、学部が展開するアクティブ・ラーニングについて定義し、FDを実施している。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
経済学部	480人	538人	112.1%	1920人	2165人	112.8%	0人	0人
地域政策学部	420人	445人	106.0%	1760人	1874人	106.5%	30人	31人
合計	900人	983人	109.2%	3680人	4039人	109.8%	30人	31人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
経済学部	513人 (100%)	12人 (2.3%)	436人 (85.0%)	65人 (12.7%)
地域政策学部	466人 (100%)	11人 (2.2%)	409人 (87.1%)	46人 (10.8%)
合計	979人 (100%)	23人 (2.4%)	845人 (86.3%)	111人 (11.3%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
就職者数に占める割合が10%以上の業種：情報通信(15.9%)、金融・保険(15.4%) 公務(14.1%)、卸小売(13.7%)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
経済学部	539人 (100%)	467人 (86.6%)	57人 (10.6%)	15人 (2.8%)	0人 (0%)
地域政策学部	456人 (100%)	409人 (89.7%)	33人 (7.2%)	14人 (3.1%)	0人 (0%)
合計	995人 (100%)	876人 (88.0%)	90人 (9.1%)	29人 (2.9%)	0人 (0%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済学部シラバス https://www.tcue.ac.jp/leafpage/e_syllabus.html ・地域政策学部シラバス https://www.tcue.ac.jp/leafpage/r_2019syllabus_a213.html
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) ・GPAの客観的な算出方法について(経済学部) https://www.tcue.ac.jp/leafpage/727.html ・高崎経済大学経済学部規程 https://www.tcue.ac.jp/files/leafpage/leafpage-507-2.pdf ・経済学部 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー) https://www.tcue.ac.jp/leafpage/e_diploma_p.html ・経済学部卒業要件 https://www.tcue.ac.jp/leafpage/e_yoken117.html ・GPAの客観的な算出方法について(地域政策学部) https://www.tcue.ac.jp/leafpage/730.html ・高崎経済大学地域政策学部規程 https://www.tcue.ac.jp/files/leafpage/leafpage-507-3.pdf ・地域政策学部 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー) https://www.tcue.ac.jp/leafpage/r_diploma.html ・地域政策学部卒業要件 https://www.tcue.ac.jp/leafpage/r_yoken218.html ・高崎経済大学学位規程 https://www.tcue.ac.jp/files/leafpage/leafpage-507-1.pdf				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
経済学部	経済学科	136 単位	有	半期 28 単位 年間 48 単位
	経営学科			
	国際学科			
地域政策学部	地域政策学科			(1・2年次) 半期 26 単位 年間 48 単位 (3・4年次) 半期 24 単位 年間 44 単位
	地域づくり学科			
	観光政策学科			
GPAの活用状況(任意記載事項)		公表方法:学業成績通知書に、通算 GPA 及び学期ごとの GPA を記載しており、保護者も確認できるようにしている。		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法: ・高経 TOEIC 成績優秀者表彰 https://www.tcue.ac.jp/leafpage/toeic_hyoushou.html ・高経外国語検定試験成績優秀者表彰 https://www.tcue.ac.jp/leafpage/gaikokugo_kentei.html		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法: <https://www.tcue.ac.jp/list/institution.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
経済学部	経済学科	520,800 円	282,000 円 ※141,000 円 (高崎市民)	円	
	経営学科				
	国際学科				
地域政策学部	地域政策学科				
	地域づくり学科				
	観光政策学科				

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 毎年4月に学年別のガイダンスを実施し、各学年に必要な情報を提供している。新入生向けのガイダンスでは、大学の施設や利用方法、履修登録等についての説明を行っている。地域政策学部ではオフィスアワーを設定しており、全専任教員が学生からの様々な質問や相談に応じている。また全学部生を対象とした「アクティブ・ラボ」では、教員がレポートや論文の書き方、パソコンの操作方法など、学修に関する様々な支援を行っている。さらに、全学部生を対象に、英語を実践する場、異文化体験の場、留学へのステップの場、そして英語を学ぶという共通の目的を持った学生たちの集いの場として、English Café を実施している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 学生が4年間を通じて体系的にキャリア形成できるよう「キャリア支援指針(キャリア形成年次ピラミッド)」を策定し、これに基づいた事業展開をするとともに、各学年で参加すべきセミナーを明示している。同窓会と連携し、全国各地で活躍する卒業生の支援を受け、学内外で就職相談会等を実施している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 毎年実施している健康診断の結果に基づき、保健指導を学校医及び保健室職員が実施している。全学生を対象とした「学生サポートルーム」では、臨床心理士等や養護教諭、看護師が学生生活の様々な悩み事の相談を積極的に受け入れている。また対面による相談だけでなく、Zoomによるビデオ相談も取り入れながら、学生の精神面の支援を行っている。ハラスメントの発生防止及び対策の面では、「公立大学法人高崎経済大学ハラスメントの防止等に関する規程」を制定し、ハラスメント相談室を設けて学生からの相談に応じている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法 : https://www.tcue.ac.jp/leafpage/johokohyo.html
--